

# おはなしからとびだした！りょうり

## 1月の本

### まじょ たっきゅうびん 魔女の宅急便

「おちこんだりもしたけれど、<sup>わたし</sup>私はげんきです。」

“13歳になったら、<sup>まじょ</sup>魔女としてひとり立ちするために、<sup>いえ</sup>家をはなれて知らない<sup>まち</sup>町で1年間くらす”というきまりでキキは<sup>まんげつ</sup>満月の夜、<sup>ほうき</sup>ほうきにのって<sup>くろねこ</sup>黒猫のジジと一緒に<sup>いっしょ</sup>新しい<sup>あた</sup>町へと<sup>たびだ</sup>旅立ちました。

<sup>うみ</sup>海の見えるすてきな<sup>まち</sup>町で、キキは自分が使えるただ一つの「<sup>ほうき</sup>ほうきで<sup>そら</sup>空を飛ぶ<sup>まほう</sup>魔法」をいかして<sup>たっきゅうびん</sup>宅急便の仕事をはじめます。知らない<sup>まち</sup>町の<sup>しゅぎょう</sup>修業はうまくいかないこともあるけれど、<sup>ま</sup>つまずきながらも<sup>まえむ</sup>前向きにがんばるキキからはたくさんの<sup>ゆうき</sup>勇気をもらえます！



作:角野 栄子  
画:林 明子  
福音館書店

## とびだしてきたおりょうりは...

キキの<sup>す</sup>住む<sup>まち</sup>町では<sup>おお</sup>大みそかの<sup>よる</sup>夜に<sup>かぞく</sup>家族で<sup>おお</sup>大きな<sup>にくだんご</sup>肉団子を<sup>た</sup>食べます。  
<sup>ものがたり</sup>物語の中では<sup>りんご</sup>リンゴのような<sup>おお</sup>大きさはありますが、<sup>きゅうしょく</sup>給食では<sup>た</sup>食べやすい<sup>おお</sup>大きさの<sup>にくだんご</sup>肉団子にしました！

<sup>た</sup>クラスのみんなと<sup>いっしょ</sup>いっしょに<sup>た</sup>食べると<sup>こころ</sup>心も<sup>からだ</sup>体も<sup>ぽかぽか</sup>ぽかぽかになる<sup>スープ</sup>スープは、<sup>さむ</sup>寒い<sup>じき</sup>時期に<sup>ぴった</sup>ぴったりですね。

1月23日の  
給食に登場！



